

「社会福祉」第九号発刊に際して

菅 支那子

初夏の候となりました。昨年、本誌第八号を「貧困」問題の実証的研究に関する特集のかたちでおおくりいたしてより、早や一年がたちました。本集をひきつづき「貧困」問題の実証的研究と、この問題についてのコメントという形でおおくりいたします。

それにつきまして、斯学の先蹤であり、本学講師としてお力添えをいただいている遊佐敏彦および福山政一の両先生より貴重な玉稿を得たことを深く感謝いたします。ますます御壮健で御活躍の程お祈りする次第です。

本集第一論文の責任者である当学科「生活問題研究会」のなりたちについては、すでに前号にのべましたが、本年も引続き研究活動がおこなわれております。小論は報

告書の第二編をなすものです。われわれの研究はまだ浅く貧しいものですが、この研究会をさらにそだて、完成させていきたいと考えております。

また、この研究会は附属設備として、東京都足立区興野町興野保育園内にセトルメント・ハウスを持っていますが、そこを起点として研究者及び当学科学生の協力により、セトルメント活動が多方面に熱心に続けられています。その一端を紹介する目的で、巻末に消息をかげさせていただきました。重ねて一層の御支援をお願い申し上げます。